

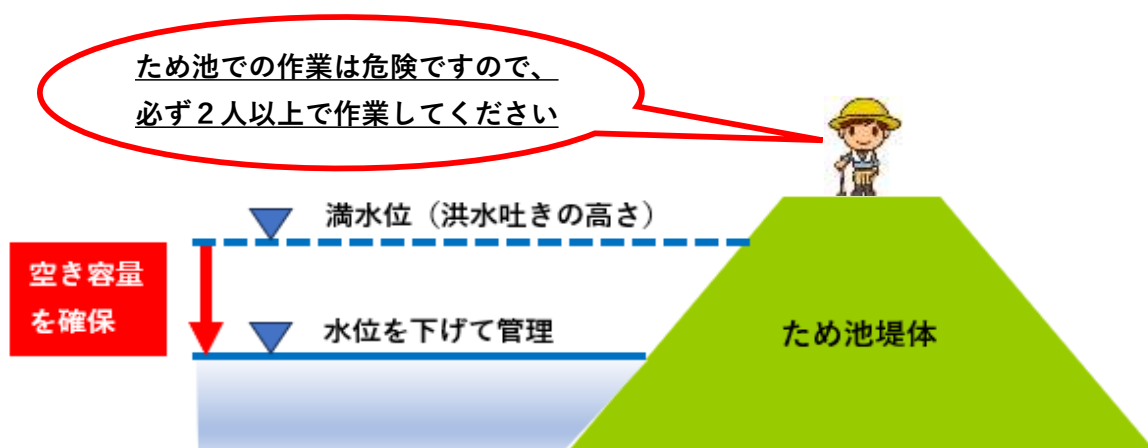
# ため池管理者の皆様へ

## 地域を災害から守るための 低水位管理にご協力ください

### 低水位管理の目的

○ため池の低水位管理とは、ため池の貯水位を下げ、空き容量を確保することにより、降雨時の流入水を一時的に貯留することで下流域の家屋や農地などへの洪水被害を軽減する洪水調節効果があります。また、ため池の貯水位を下げることにより、大雨や地震時にため池堤頂部からの越流による決壊から堤体を守る効果も期待できます。

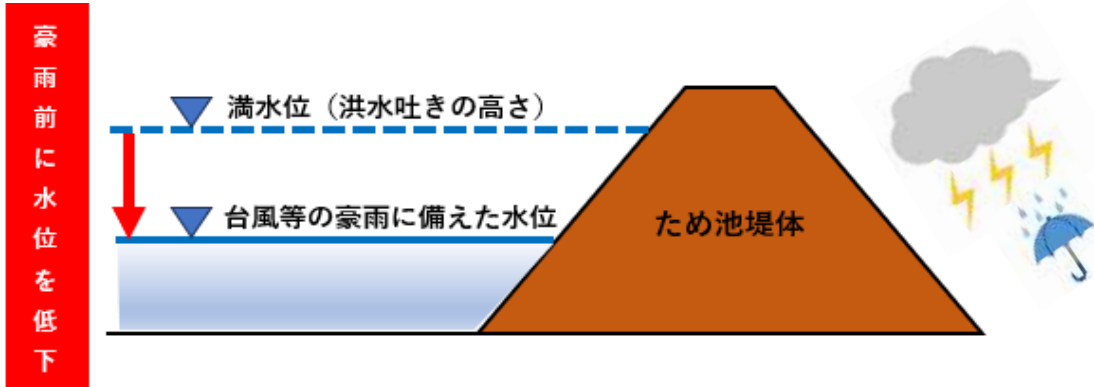
### 低水位管理の基本的な考え方



※ため池の貯水能力や必要とされる水量はため池ごとに様々であり、極端な水位低下により用水不足が生じたり景観が大きく変わることもありますので、営農に影響しない範囲で実施することを基本として、地域の実情に配慮しながら取り組んでください。

# 低水位管理の手法

## 1. 豪雨前の事前放流について

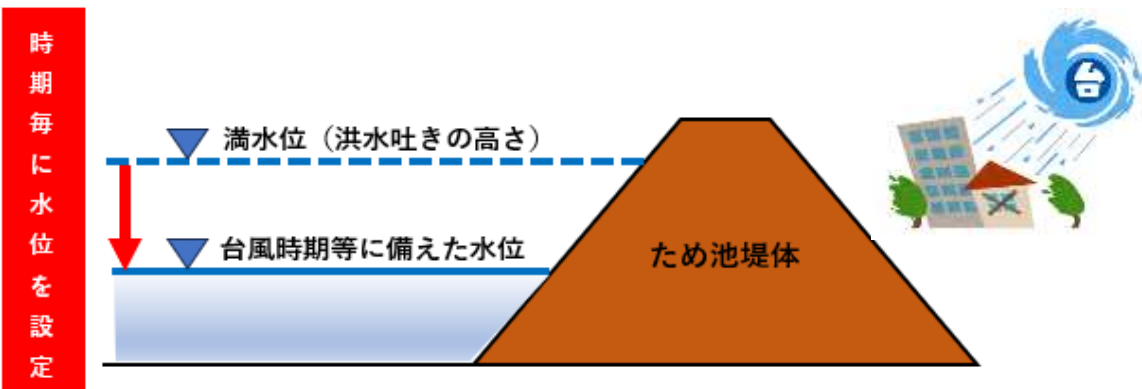


豪雨予報の前にあらかじめ水位を低下させ、ため池に雨水を貯めることで下流へ流出する水量を一時的に減らすことができます。

実施時期は、満水位となっている6月から8月頃において豪雨が予想される場合、貯水をあらかじめ放流しておき一時的に雨水を貯留します。

ため池の水位											
かんがい期					非かんがい期						
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
満水位期間					満水位に向けて貯水する期間						
豪雨予報に応じて 事前放流					低水位管理期間						

## 2. 非かんがい期の低水位管理について



ため池の利用が終わる8月末頃からできるだけ水位を低下させておくことで台風等による豪雨が発生した場合、水位を下げた量の雨水を貯留することができます。実施時期の目安は、台風シーズンの8月から10月頃までの期間となります。

ため池の水位											
かんがい期					非かんがい期						
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
満水位期間					満水位に向けて貯水する期間						
					台風シーズン 低水位管理期間						